

カリキュラム編成表(授業科目等の概要)

令和4年度 文化・教養専門課程 (公務員学科)														
専門・一般	年次	学期	科目区分	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時間数	単位数	授業方法			
				必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実	
専門	1	前期	専門	○			数的処理 I A	公務員試験一般知能の数的推理の問題を解くための基礎知識を習得させる。また確認テストを単元ごとに実施するなどして理解を深め、問題の解決能力を養成する。	90	6	○			
	1	前期	専門	○			判断推理 I A	公務員試験一般知能の判断推理の問題を解くための基礎知識を習得させる。また確認テストを単元ごとに実施するなどして理解を深め、問題の解決能力を養成する。	90	6	○			
	1	前期	専門	○			資料解釈 I A	公務員試験一般知能の資料解釈の問題を解くための基礎知識を習得させる。また確認テストを単元ごとに実施するなどして理解を深め、問題の解決能力を養成する。	60	4	○			
	1	前期	専門	○			文章理解 I A	公務員試験における文章理解はあくまでも一般的な常識性が求められるので、広い教養知識の習得を目的とする。各時間にプリント学習などをなるべく多く行うことによって、たくさん問題に取り組み、学力の向上に努める。	60	4	○			
	1	前期	専門	○			数学 I A	公務員試験一般知能の数学の問題を解くための基礎知識を習得させる。また確認テストを単元ごとに実施するなどして理解を深め、問題の解決能力を養成する。	30	2	○			
	1	前期	専門	○			英語 I A	公務員試験における文章理解の英語パート対策を行う。	30	2	○			
	1	前期	専門	○			政治・経済 I A	公務員試験一般知能の政治・経済の問題を解くための基礎知識を習得させる。また確認テストを単元ごとに実施するなどして理解を深め、問題の解決能力を養成する。	30	2	○			
	1	前期	専門	○			日本史 I A	公務員試験一般知能の日本史の問題を解くための基礎知識を習得させる。また確認テストを単元ごとに実施するなどして理解を深め、問題の解決能力を養成する。	30	2	○			
	1	前期	専門	○			世界史 I A	公務員試験一般知能の世界史の問題を解くための基礎知識を習得させる。また確認テストを単元ごとに実施するなどして理解を深め、問題の解決能力を養成する。	30	2	○			
	1	前期	専門	○			倫理・社会 I A	公務員試験一般知能の倫理・社会の問題を解くための基礎知識を習得させる。また確認テストを単元ごとに実施するなどして理解を深め、問題の解決能力を養成する。	30	2	○			
	1	前期	専門	○			地理 I A	公務員試験一般知能の地理の問題を解くための基礎知識を習得させる。また確認テストを単元ごとに実施するなどして理解を深め、問題の解決能力を養成する。	30	2	○			
	1	前期	専門	○			生物 I A	地球上に誕生した生命は、絶滅したものや子孫を残しながら存続しているものなど様々である。生物について基礎的事項を理解する。基本問題、実践問題および模擬テストによる受験対策を行う。	30	2	○			
	1	前期	専門	○			化学 I A	物質のミクロな段階からの成り立ちを知り、物質の利用による豊かな生活を実感するとともに環境問題をも理解する。基本問題、実践問題および模擬テストによる受験対策を行う。	30	2	○			
	1	前期	専門	○			地学 I A	公務員試験一般知能の地学の問題を解くための基礎知識を習得させる。また確認テストを単元ごとに実施するなどして理解を深め、問題の解決能力を養成する。	30	2	○			
	1	前期	専門	○			物理 I A	公務員試験一般知能の物理の問題を解くための基礎知識を習得させる。また確認テストを単元ごとに実施するなどして理解を深め、問題の解決能力を養成する。	30	2	○			
	1	前期	専門	○			作文 I A	作文試験に向けて基本問題、応用問題による受験対策を行う。	30	1		○		
	1	前期	専門	○			適性試験対策演習 I A	適性試験に向けて基本問題、応用問題による受験対策を行う。	60	2		○		
	1	後期	専門	○			試験対策演習 I A	公務員試験に向けて実力アップを図ることを目的とし、総復習を行う。	360	12		○		
	一般	1	後期	専門	○			電卓 I A	社会人として必要な基本的な電卓スキル習得を目指す	60	2		○	
		1	後期	専門	○			計算実務 I A	社会人として必要な基本的な計算スキル習得を目指す	60	2		○	
1		後期	専門	○			漢字 I A	社会人として必要な基本的漢字能力を身に付ける	30	1		○		
1		後期	専門	○			ビジネスマナー I A	現場で役立つ基本的マナーを場面別に学習する。	30	1		○		
一般	1	前期	専門		○		ICT演習 I A	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・データベースの技術を身につける。	30	1		○		
	1	後期	専門		○		ICT演習 I B	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・データベースの技術を身につける。	30	1		○		
	1	後期	専門		○		ICT活用 I A	VR技術を用いたプレゼンテーション技法の向上を図る	30	1		○		
	1	前期	一般		○		表現力 I A	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1		○		
	1	後期	一般		○		キャリア支援 I A	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1		○		
	1	前期	一般		○		データマーケティング I A	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。	30	1		○		
	1	後期	一般		○		データマーケティング I B	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。	30	1		○		
合計							29 科目	1470 単位時間	70 単位)					

卒業要件及び履修方法				授業期間等		
卒業要件: 50単位取得 GPA 2.0以上 必修科目を取得していること				1学年の学期区分		
				2	期	
				1学期の授業期間		
				15	週	

科目名	数的処理1A						学期	前 期	
担当教員	板坂 仁美	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	6
学習目的	初級公務員試験に向けて、数的処理課題についての知識を身に付ける。								
授業内容	方程式の立式から基本的な解法までを順序立てて解説しながらの講義。問題集による演習を繰り返し、一般的な公式を使いこなす実践力の養成。								
学習目標	数的推理力を必要とする課題について自ら解決していく力を養い、初級公務員試験問題を解くことができる。								
使用テキスト	公務員試験 地方初級 国家一般職(高卒者) 第3版 数学・数的推理(テキスト)公務員試験 地方初級 国家一般職(高卒者) 第3版 数学・数的推理(問題集)								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	第1章 文章題 1. 方程式の導き方と解き方 2. 和と差(平均・過不足) 3. 割合と比(歩合・百分率・比)	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
2	4. 損益計算 5. 食塩水の濃度 6. 速さの基本	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
3	7. 速さと比 8. 旅人算	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
4	9. 時計算 10. 通過算 11. 流水算	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
5	12. 仕事算 13. 数の性質(約数・倍数・n進法) 14. 覆面算	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
6	第2章 図形 1. 三角形・四角形 2. 三角形の合同条件 3. 三角形の相似条件	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
7	4. 平行線と線分比 5. 三角形の成立条件・三平方の定理 6. 三角形の重心・外心・内心	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
8	7. 面積 8. 面積と比	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
9	9. 円周角 10. 円に内接する四角形	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
10	11. 円と接線 12. 立体図形	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
11	第3章 場合の数 1. 場合の数 2. 順列 3. 円順列	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
12	4. 数珠順列・重複順列 5. 同じものを含む順列 6. 組合せ	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
13	7. 組合せの応用 8. 確率の基本法則と和事象・積事象 9. 和事象の確率	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
14	10. 排反事象の確率 11. 余事象 12. 独立な試行	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
15	13. 独立な試行と排反事象の組合せ 14. 反復試行	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
	評価項目/割合	評 価 内 容							
評価基準	1. 課題 30%	授業中の演習の取り組み方、家庭での課題の取り組み方 課題・ノートなどの提出状況							
	2. 授業姿勢 30%	出席率 授業に対する積極性(自ら考えようとしているか) ノートの取り方・まとめ方							
	3. テストその他 40%	確認テスト 期末試験							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	初級公務員採用試験								

科目名	判断推理1A						学期	前 期	
担当教員	板坂 仁美	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	6
学習目的	初級公務員試験に向けて、判断推理課題についての知識を身に付ける。								
授業内容	頻出問題は基礎的解法、空間把握は図形全般を平面上で表す解法などを解説しながらの講義。問題集による演習を繰り返し、自分なりに工夫しながら解く実践								
学習目標	解き方のパターンを使い分け自ら解決していく力を養い、初級公務員試験問題が解くことができる。								
使用テキスト	公務員試験 地方初級 国家一般職(高卒者) 第3版 判断推理・資料解釈(テキスト)公務員試験 地方初級 国家一般職(高卒者) 第3版 判断推理・資料解釈								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	第1章 命題・論理	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
2	第2章 暗号	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
3	第3章 対応関係(1)勝敗 第4章 対応関係(2)対応	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
4	第5章 対応関係(3)類推	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
5	第6章 対応関係(4)嘘つき問題 第7章 順位・順序(1)序列・大小	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
6	第8章 順位・順序(2)数値 第9章 順位・順序(3)追い越し・親族関係	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
7	第10章 位置 第11章 方位	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
8	第12章 集合	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
9	第13章 魔法陣 第14章 道順	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
10	第15章 手順 第16章 曜日	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
11	第17章 その他の問題	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
12	第18章 平面図形(1)平面構成	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
13	第19章 平面図形(2)軌跡	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
14	第20章 立体図形(1)正多面体	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
15	第21章 立体図形(2)立体の構造	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 30%	授業中の演習の取り組み方、家庭での課題の取り組み方 課題・ノートなどの提出状況							
	2. 授業姿勢 30%	出席率 授業に対する積極性(自ら考えようとしているか) ノートの取り方・まとめ方							
	3. テストその他 40%	確認テスト 期末試験							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	初級公務員採用試験								

科目名	資料解釈1A						学期	前 期	
担当教員	板坂 仁美	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	4
学習目的	初級公務員試験に向けて、資料解釈課題についての知識を身に付ける。								
授業内容	資料の中の数字が表しているもの、数値を比較する際の基準点などを資料から読み取る方法を解説しながらの講義。問題集による演習を繰り返し、様々な問題を								
学習目標	短時間で計算する力を養い、初級公務員試験問題が解くことができる。								
使用テキスト	公務員試験 地方初級 国家一般職(高卒者) 第3版 判断推理・資料解釈(テキスト)公務員試験 地方初級 国家一般職(高卒者) 第3版 判断推理・資料解釈								
週数	授業計画				事前・事後の学習				
1	第1章 資料解釈の基礎	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
2	第1章 資料解釈の基礎	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
3	第1章 資料解釈の基礎	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
4	第2章 構成比	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
5	第2章 構成比	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
6	第2章 構成比	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
7	第3章 増減率	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
8	第3章 増減率	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
9	第3章 増減率	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
10	第4章 指数	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
11	第4章 指数	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
12	第4章 指数	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
13	第5章 特殊なグラフ	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
14	第5章 特殊なグラフ	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
15	第5章 特殊なグラフ	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
	評価項目/割合	評 価 内 容							
評価基準	1. 課題 30 %	授業中の演習の取り組み方、家庭での課題の取り組み方 課題・ノートなどの提出状況							
	2. 授業姿勢 30 %	出席率 授業に対する積極性(自ら考えようとしているか) ノートの取り方・まとめ方							
	3. テストその他 40 %	確認テスト 期末試験							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	初級公務員採用試験								

科目名	文章理解 I A						学期	前	期
担当教員	沢柿 温美	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	初級公務員試験に向け、分野ごとに学習内容のポイントを確認し、文章理解に必要な基礎力と応用力を身に付けることを目指す。								
授業内容	文章読解に必要な語句や文法、熟語の学習。基礎的な内容から、段階を追って応用問題に取り組む。								
学習目標	文章読解に必要な語句や文法、熟語について理解したことを応用させ、解答を導き出すことができる。								
使用テキスト	地方初級・国家一般職(高卒者)国語・文章理解(テキスト) 地方初級・国家一般職(高卒者)人文科学(問題集)口								
週数	授業計画				事前・事後の学習				
1	第2編 第1章 現代文の内容把握(国語) ・接続詞/指示語 第1編 第1章 漢字	【事前】	ハンドブックの履修概要を読む。教科書をそろえる。田キストP4～P10						
		【事後】	演習問題の復習田キストP4～P10をノートに書く。						
2	第2編 第1章 現代文の内容把握(国語) ・主題/対比 第1編 第1章 漢字	【事前】	田キストP11～P17をノートに書く。						
		【事後】	演習問題の復習田キストP11～P17をノートに書く。						
3	第2編 第1章 現代文の内容把握(国語) ・現代文の重要語句 第1編 第1章 漢字	【事前】	田キストP18～P24をノートに書く。						
		【事後】	演習問題の復習田キストP18～P24をノートに書く。						
4	第2編 第2章 古文の内容把握(国語) ・動詞の活用形/助動詞/形容詞 第1編 第1章 漢字	【事前】	田キストP25～P31をノートに書く。						
		【事後】	演習問題の復習田キストP25～P31をノートに書く。						
5	第2編 第2章 古文の内容把握(国語) ・古文の重要語句 第1編 第1章 四字熟語	【事前】	田キストP32～P38をノートに書く。						
		【事後】	演習問題の復習田キストP32～P38をノートに書く。						
6	第2編 第3章 漢文の内容把握(国語) 第1編 第2章 四字熟語	【事前】	田キストP39～P45をノートに書く。						
		【事後】	演習問題の復習田キストP39～P45をノートに書く。						
7	第2編 第3章 漢文の内容把握(国語) 第1編 第2章 四字熟語	【事前】	田キストP46～P54をノートに書く。						
		【事後】	演習問題の復習田キストP46～P54をノートに書く。						
8	第2編 第4章 空欄補充(国語) 第1編 第2章 ことわざ・故事	【事前】	田キストP56～P62をノートに書く。						
		【事後】	演習問題の復習田キストP56～P62をノートに書く。						
9	第2編 第4章 空欄補充(国語) 第1編 第3章 ことわざ・故事	【事前】	田キストP63～P69をノートに書く。						
		【事後】	演習問題の復習田キストP63～P72をノートに書く。						
10	第2編 第5章 文章整序(国語)	【事前】	第1編第1章～第4章までの復習						
		【事後】	演習問題の復習						
11	第2編 第5章 文章整序(国語)	【事前】	第1編第1章～第4章までの復習						
		【事後】	演習問題の復習						
12	第3編 第1章 内容把握(英文)	【事前】	第1編第1章～第4章までの復習						
		【事後】	演習問題の復習						
13	第3編 第1章 内容把握(英文)	【事前】	第1編第1章～第4章までの復習						
		【事後】	演習問題の復習						
14	第3編 第2章 空欄補充(英文)	【事前】	第1編第1章～第4章までの復習						
		【事後】	演習問題の復習						
15	第3編 第2章 空欄補充(英文)	【事前】	第1編第1章～第4章までの復習						
		【事後】	演習問題の復習						
評価基準	評価項目/割合		評価内容						
	1. 課題	30 %	事前・事後学習への取り組み(ノート・プリントなどの提出) 授業中の演習課題への取り組み						
	2. 授業姿勢	30 %	授業への自主的な参加態度 出席率						
	3. テストその他	40 %	確認テストの達成度						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	初級公務員採用試験								

科目名	数学1A						学期	前期	
担当教員	板坂 仁美	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	初級公務員試験に向けて、数学課題についての知識を身に付ける。								
授業内容	テキストを中心として基本的な問題から応用問題までを解説しながらの講義。問題集による演習を繰り返し、どのような形態で出題されても対応できる実践力の								
学習目標	数学課題について自ら解決していく力を養い、初級公務員試験問題が解くことができる。								
使用テキスト	公務員試験 地方初級 国家一般職(高卒者) 第3版 数学・数的推理(テキスト)公務員試験 地方初級 国家一般職(高卒者) 第3版 数学・数的推理(問題集)								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	第1章 数と式 1. 整式の加法と減法 2. 指数法則 3. 整式の乗法	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。			【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。		
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。			【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。		
2	4. 式の展開 5. 因数分解とその応用 6. 整式の除法	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。			【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。		
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。			【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。		
3	7. 平方根 8. 分母の有理化 9. 二重根号	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。			【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。		
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。			【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。		
4	第2章 方程式と不等式 1. 連立方程式 2. 2次方程式	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。			【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。		
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。			【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。		
5	3. 1次不等式 第3章 関数 1. 関数の基礎	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。			【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。		
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。			【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。		
6	3. $y=ax^2$ のグラフ 4. $y=a(x-p)^2+p$ のグラフ	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。			【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。		
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。			【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。		
7	5. $y=ax^2+bx+c$ のグラフ 2次関数の最大・最小	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。			【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。		
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。			【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。		
8	第4章 関数のグラフと方程式・不等式 1. 関数のグラフと方程式の関係 2. 共有点の数と判別式の関係	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。			【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。		
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。			【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。		
9	3. 関数のグラフと不等式の関係 4. 2次不等式	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。			【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。		
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。			【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。		
10	第5章 三角比 1. 三角比の基礎 2. 三角比の応用	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。			【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。		
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。			【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。		
11	3. 鈍角の三角比 4. 三角比の相互関係	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。			【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。		
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。			【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。		
12	5. 三角形と三角比 第6章 数列 1. 数列の一般項	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。			【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。		
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。			【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。		
13	2. 等差数列 3. 等差数列の和	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。			【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。		
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。			【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。		
14	4. 等比数列 5. 等比数列の和	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。			【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。		
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。			【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。		
15	6. 確率	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。			【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。		
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。			【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。		
	評価項目/割合		評価内容						
評価基準	1. 課題	30 %	授業中の演習の取り組み方、家庭での課題の取り組み方 課題・ノートなどの提出状況						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率 授業に対する積極性(自ら考えようとしているか) ノートの取り方、まとめ方						
	3. テストその他	40 %	確認テスト 期末試験						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検 定・課外 授業実 施予定・ その他	初級公務員採用試験								

科目名	英語 I A						学期	前	期
担当教員	沢柿 温美	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	初級公務員試験に向け、文章理解に必要な単語と文法を理解し、速読することを目指す。								
授業内容	文章読解に必要な語句や文法、熟語の学習。速読で内容把握をするために、個人に応じたスモールステップでの学習。								
学習目標	文章読解に必要な語句や文法、熟語について理解したことを応用させて、解答を導き出すことができる。								
使用テキスト	速読英単語 必修編								
週数	授業計画				事前・事後の学習				
1	STAGE1 文法:文の構造	【事前】	ハンドブックの履修概要を読む。教科書をそろえる。STAGE1の未習熟						
		【事後】	今日の学習の振り返り						
2	STAGE2 文法:時制・助動詞	【事前】	STAGE2の未習熟の単語を確認する。						
		【事後】	今日の学習の振り返り						
3	STAGE3 文法:不定詞	【事前】	STAGE3の未習熟の単語を確認する。						
		【事後】	今日の学習の振り返り						
4	STAGE4 文法:動名詞・分詞	【事前】	STAGE4の未習熟の単語を確認する。						
		【事後】	今日の学習の振り返り						
5	STAGE5 文法:関係詞	【事前】	STAGE5の未習熟の単語を確認する。						
		【事後】	今日の学習の振り返り						
6	STAGE6 文法:接続詞・前置詞	【事前】	STAGE6の未習熟の単語を確認する。						
		【事後】	今日の学習の振り返り						
7	STAGE7 文法:仮定法	【事前】	STAGE7の未習熟の単語を確認する。						
		【事後】	今日の学習の振り返り						
8	まとめてチェック	【事前】	まとめてチェックの未習熟の単語を確認する。						
		【事後】	今日の学習の振り返り						
9	過去問対策(1)	【事前】	未習熟の単語を確認する。						
		【事後】	今日の学習の振り返り						
10	過去問対策(2)	【事前】	STAGE4の未習熟の単語を確認する。						
		【事後】	今日の学習の振り返り						
11	過去問対策(3)	【事前】	未習熟の単語を確認する。						
		【事後】	今日の学習の振り返り						
12	過去問対策(4)	【事前】	未習熟の単語を確認する。						
		【事後】	今日の学習の振り返り						
13	過去問対策(5)	【事前】	未習熟の単語を確認する。						
		【事後】	今日の学習の振り返り						
14	過去問対策(6)	【事前】	未習熟の単語を確認する。						
		【事後】	今日の学習の振り返り						
15	過去問対策(7)	【事前】	未習熟の単語を確認する。						
		【事後】	今日の学習の振り返り						
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 30 %	事前・事後学習への取り組み(ノート・プリントなどの提出) 授業中の演習課題への取り組み							
	2. 授業姿勢 30 %	授業への自主的な参加態度 出席率							
	3. テストその他 40 %	確認テストの達成度							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	初級公務員採用試験								

科目名	政治・経済ⅠA						学期	前	期	期	
担当教員	沢柿 温美	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2		
学習目的	初級公務員試験に向け、政治・経済分野に関する基礎力を身に付け、さらに時事問題を参照しながら政治と経済の仕組みを把握することを目指す。										
授業内容	テーマごとに重要語句や仕組み、なぜそうなっているのかなどの背景について基礎を学び、時事問題を取り上げ応用力を付ける。										
学習目標	政治・経済の分野について、基礎力を身に付け、さらに時事問題と照合する学習を通して、政治と経済の仕組みを把握することを目指す。										
使用テキスト	地方初級・国家一般職(高卒者)社会科学(テキスト) 地方初級・国家一般職(高卒者)社会科学(問題集)口										
週数	授業計画					事前・事後の学習					
1	第1編 政治 第1章 民主政治 第2章 日本国憲法					【事前】	ハンドブックの履修概要を読む。教科書をそろえる。テキストの該当ページを予習				
						【事後】	演習問題の復習ノートづくり				
2	第1編 政治 第3章 基本的人権 第4章 立法権・国会					【事前】	テキストの該当ページの予習				
						【事後】	演習問題の復習ノートづくり				
3	第1編 政治 第5章 行政権・内閣 第6章 司法権・裁判所					【事前】	テキストの該当ページの予習				
						【事後】	演習問題の復習ノートづくり				
4	第1編 政治 第7章 地方自治					【事前】	テキストの該当ページの予習				
						【事後】	演習問題の復習ノートづくり				
5	第1編 政治 第8章 選挙制度と政党政治					【事前】	テキストの該当ページの予習				
						【事後】	演習問題の復習ノートにまとめる。				
6	第1編 政治 第9章 国際政治					【事前】	テキストの該当ページの予習				
						【事後】	演習問題の復習ノートづくり				
7	第2編 経済 第1章 市場の形態					【事前】	テキストの該当ページの予習				
						【事後】	演習問題の復習ノートづくり				
8	第2編 経済 第2章 景気と金融政策					【事前】	テキストの該当ページの予習				
						【事後】	演習問題の復習ノートにまとめる。				
9	第2編 経済 第3章 財政政策と税金・通貨					【事前】	テキストの該当ページの予習				
						【事後】	演習問題の復習ノートづくり				
10	第2編 経済 第4章 国民所得と景気変動					【事前】	テキストの該当ページの予習				
						【事後】	演習問題の復習ノートにまとめる。				
11	第2編 経済 第5章 国際経済 第6章 日本の経済					【事前】	テキストの該当ページの予習				
						【事後】	演習問題の復習ノートづくり				
12	日本国憲法の特徴と憲法改正の手続き					【事前】	憲法についてまとめる。				
						【事後】	ノートづくり				
13	日本の貿易状況について					【事前】	日本の貿易についてまとめる。				
						【事後】	ノートづくり				
14	課題研究					【事前】	授業で取り上げたテーマから一つ選び、仕組みや背景、関連などを追究しパワーポイントにまとめる。				
						【事後】	ノートづくり				
15	まとめ					【事前】	自分の弱点のテーマについて調べ、ノートにまとめる。				
						【事後】	ノートづくり演習問題の復習				
評価基準	評価項目/割合		評価内容								
	1. 課題	40 %	ノート 課題研究のまとめと発表(1回) 家庭学習への取り組み								
	2. 授業姿勢	30 %	授業への自主的な参加態度 出席率								
	3. テストその他	30 %	確認テストの達成度								
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。											
目標検 定・課外 授業実 施予定・ その他	初級公務員採用試験										

科目名	日本史 I A						学期	前	期	期
担当教員	沢柿 温美	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2	
学習目的	初級公務員試験に向け、歴史的内容と時代背景を関連させて考えることのできる基礎力を身に付け、日本史を通して全体像を把握することを目指す。									
授業内容	知識と深い思考力を身に付けるために、時代ごとの出来事を関連付けたり比較したりする学習活動に取り組む。自分で決めたテーマについて調べ発表する課題									
学習目標	各時代の時代背景と関連付けながら、主要出来事と人物などについて理解する。各時代を横断的に捉え、時代背景や主要出来事の同異などについて深く理解する									
使用テキスト	地方初級・国家一般職(高卒者)人文科学(テキスト) 地方初級・国家一般職(高卒者)人文科学(問題集)むいちど読む 山川 日本史/山川出版社									
週数	授業計画					事前・事後の学習				
1	第1章 旧石器時代～推古朝	【事前】	VTRの視聴			【事後】	ノートづくり			
		【事後】	ノートづくり							
2	第2章 律令国家の形成～奈良時代～ 第3章 平安時代	【事前】	VTRの視聴			【事後】	ノートづくり			
		【事後】	ノートづくり							
3	第4章 鎌倉時代	【事前】	VTRの視聴			【事後】	ノートづくり			
		【事後】	ノートづくり							
4	第5章 建武の新政～室町時代(～応仁の乱) 第6章 戦国時代～桃山(織豊政権時代)	【事前】	VTRの視聴			【事後】	ノートづくり			
		【事後】	ノートづくり							
5	課題研究発表へむけてパワーポイントにまとめる。	【事前】	資料調査			【事後】	資料調査			
		【事後】	資料調査							
6	課題研究発表	【事前】	資料調査			【事後】	ノートづくり			
		【事後】	ノートづくり							
7	第7章 江戸時代(初期～三大改革)	【事前】	VTRの視聴			【事後】	ノートづくり			
		【事後】	ノートづくり							
8	第7章 江戸時代(初期～三大改革) 第8章 江戸末期	【事前】	VTRの視聴			【事後】	ノートづくり			
		【事後】	ノートづくり							
9	第9章 明治初期(～日清戦争)	【事前】	VTRの視聴			【事後】	ノートづくり			
		【事後】	ノートづくり							
10	第10章 明治中期～太平洋戦争	【事前】	VTRの視聴			【事後】	ノートづくり			
		【事後】	ノートづくり							
11	第11章 終戦後 第12章 通史	【事前】	テキストの予習			【事後】	ノートづくり			
		【事後】	ノートづくり							
12	時代を横断して考える ―貿易・外交― 時代を横断して考える ―日本と朝鮮半島との関係―	【事前】	VTRの視聴			【事後】	課題研究発表の準備			
		【事後】	課題研究発表の準備							
13	時代を横断して考える ―文化― 時代を横断して考える ―政治史―	【事前】	反転学習VTRの視聴			【事後】	課題研究発表の準備			
		【事後】	課題研究発表の準備							
14	主要人物のまとめ	【事前】	課題研究発表の準備			【事後】	課題研究発表の準備			
		【事後】	課題研究発表の準備							
15	課題研究発表	【事前】	課題研究発表の準備			【事後】	ノートの完成			
		【事後】	ノートの完成							
	評価項目/割合		評価内容							
評価基準	1. 課題	40 %	課題研究のまとめと発表(2回) 家庭学習への取り組み方							
	2. 授業姿勢	30 %	授業への自主的な参加態度 出席率							
	3. テストその他	30 %	確認テストの達成度							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他	初級公務員採用試験									

科目名	世界史1A						学期	前期	
担当教員	山内 裕	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	公務員試験合格の目標達成								
授業内容	基礎知識の定着の講義、定着確認のための演習、過去問の取組								
学習目標	例年1～2題出題の問題対策								
使用テキスト	公務員試験 地方初級 国家一般職(高卒者) 第3版 自然科学(テキスト)公務員試験 地方初級 国家一般職(高卒者) 第3版 自然科学(問題集)								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	古代史 講義	【事前】	無			【事後】	無		
		【事後】	無			【事後】	無		
2	中世西欧史 講義	【事前】	無			【事後】	無		
		【事後】	無			【事後】	無		
3	近世西欧史 講義	【事前】	無			【事後】	無		
		【事後】	無			【事後】	無		
4	近代史 講義	【事前】	無			【事後】	無		
		【事後】	無			【事後】	無		
5	東洋史 講義	【事前】	無			【事後】	無		
		【事後】	無			【事後】	無		
6	現代史 講義	【事前】	無			【事後】	無		
		【事後】	無			【事後】	無		
7	古代史 演習・解説	【事前】	無			【事後】	課題		
		【事後】	課題			【事後】	課題		
8	中世西欧史 演習・解説	【事前】	無			【事後】	課題		
		【事後】	課題			【事後】	課題		
9	近世西欧史 演習・解説	【事前】	無			【事後】	課題		
		【事後】	課題			【事後】	課題		
10	近代史 演習・解説	【事前】	無			【事後】	課題		
		【事後】	課題			【事後】	課題		
11	東洋史 演習・解説	【事前】	無			【事後】	課題		
		【事後】	課題			【事後】	課題		
12	現代史 演習・解説	【事前】	無			【事後】	課題		
		【事後】	課題			【事後】	課題		
13	過去問取組	【事前】	無			【事後】	課題		
		【事後】	課題			【事後】	課題		
14	過去問取組	【事前】	無			【事後】	課題		
		【事後】	課題			【事後】	課題		
15	過去問取組	【事前】	無			【事後】	課題		
		【事後】	課題			【事後】	課題		
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 20%	授業中の演習の取り組み方							
	2. 授業姿勢 30%	出席率 授業に対する積極性(自ら考えようとしているか)							
	3. テストその他 50%	期末試験							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	初級公務員採用試験								

科目名	倫理・社会ⅠA						学期	前	期	期	
担当教員	沢柿 温美	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2		
学習目的	初級公務員試験に向け、倫理・社会分野をテーマごとに学習し基礎力を身に付け、労働関係や社会保障、思想についての知識を身に付けることを目指す。										
授業内容	各分野(労働・社会保障・国際情勢など)の基礎知識を学習する。日本の宗教、思想家、西洋思想について学習する。										
学習目標	初級公務員試験に向け、倫理・社会分野をテーマごとに学習し基礎力を身に付け、労働関係や社会保障、思想について理解できる。										
使用テキスト	地方初級・国家一般職(高卒者)社会科学(テキスト) 地方初級・国家一般職(高卒者)社会科学(問題集)口										
週数	授業計画					事前・事後の学習					
1	第3編 倫理・社会 第1章 労働関係					【事前】	ハンドブックの履修概要を読む。教科書をそろえる。テキストの該当イ				
						【事後】	演習問題の復習シートづくり				
2	第3編 倫理・社会 第1章 労働関係					【事前】	テキストの該当ページの予習				
						【事後】	演習問題の復習シートづくり				
3	第3編 倫理・社会 第2章 社会保障制度					【事前】	テキストの該当ページの予習				
						【事後】	演習問題の復習シートづくり				
4	第3編 倫理・社会 第2章 社会保障制度					【事前】	テキストの該当ページの予習				
						【事後】	演習問題の復習シートづくり				
5	第3編 倫理・社会 第3章 青年期の心理					【事前】	テキストの該当ページの予習				
						【事後】	演習問題の復習シートにまとめる。				
6	第3編 倫理・社会 第4章 社会集団と現代社会の構造①					【事前】	テキストの該当ページの予習				
						【事後】	演習問題の復習シートづくり				
7	第3編 倫理・社会 第5章 日本・東洋の思想					【事前】	テキストの該当ページの予習				
						【事後】	演習問題の復習シートづくり				
8	第3編 倫理・社会 第6章 西洋の思想					【事前】	テキストの該当ページの予習				
						【事後】	演習問題の復習シートにまとめる。				
9	第3編 倫理・社会 第4章 社会集団と現代社会の構造② —環境問題について考える—					【事前】	関心のある環境問題について調べまとめる。				
						【事後】	演習問題の復習シートづくり				
10	第3編 倫理・社会 第4章 社会集団と現代社会の構造③ —地域の現状について考える—					【事前】	地域の現状についてニュースや新聞を通して調べ、まとめる。				
						【事後】	演習問題の復習シートにまとめる。				
11	第3編 倫理・社会 第4章 社会集団と現代社会の構造④ —地域の現状について考える—					【事前】	地域の現状についてさらに深く調べる。				
						【事後】	演習問題の復習シートづくり				
12	第3編 倫理・社会 第4章 社会集団と現代社会の構造⑤ —地域との連携について考える—					【事前】	地域連携について調べまとめる。				
						【事後】	演習問題の復習シートづくり				
13	課題研究					【事前】	研究テーマを設定し、目的と調べる内容についてまとめる。				
						【事後】	演習問題の復習シートづくり				
14	課題研究					【事前】	研究テーマをパワーポイントにまとめて完成させ、発表の練習をする。				
						【事後】	演習問題の復習シートづくり				
15	まとめ					【事前】	自分の弱点のテーマについて調べ、ノートにまとめる。				
						【事後】	演習問題の復習シートづくり				
	評価項目/割合					評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	ノート 課題研究のまとめと発表(1回) 事前学習への取り組み方 授業への自主的な参加態度 出席率								
	2. 授業姿勢	30 %	確認テストの達成度								
	3. テストその他	30 %									
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。											
目標検 定・課外 授業実 施予定・ その他	地域にはどのような課題がありどのような対策をしているのかを、実際に地域へ出かけて各機関の人々から話を聞いたり、調査したりする。(課外授業の実施)初級公務員採用試験										

科目名	政治・経済ⅠA						学期	前 期	
担当教員	沢柿 温美	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	初級公務員試験に向け、政治・経済分野をテーマごとに学習し基礎力を身に付け、さらに時事問題を参照しながら政治と経済の仕組みを把握することを目指す。								
授業内容	テーマごとに重要語句や仕組み、なぜそうなっているのかなどの背景について基礎を学び、時事問題を取り上げ応用力を付ける。								
学習目標	政治・経済の分野について、基礎力を身に付け、さらに時事問題と照らし合わせる学習を通して、政治と経済の仕組みを把握することを目指す。								
使用テキスト	地方初級・国家一般職(高卒者)社会科学(テキスト) 地方初級・国家一般職(高卒者)社会科学(問題集)口								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	第3編 地理 第1章 地図の図法					【事前】	ハンドブックの履修概要を読む。教科書をそろえる。テキストの該当ページを予習。		
						【事後】	演習問題の復習ノートづくり		
2	第3編 地理 第2章 世界の地形					【事前】	テキストの該当ページの予習		
						【事後】	演習問題の復習ノートづくり		
3	第3編 地理 第2章 世界の地形					【事前】	テキストの該当ページの予習		
						【事後】	演習問題の復習ノートづくり		
4	第3編 地理 第3章 世界の気候					【事前】	テキストの該当ページの予習		
						【事後】	演習問題の復習ノートづくり		
5	第3編 地理 第3章 世界の気候					【事前】	テキストの該当ページの予習		
						【事後】	演習問題の復習ノートにまとめる。		
6	第3編 地理 第3章 世界の気候					【事前】	テキストの該当ページの予習		
						【事後】	演習問題の復習ノートづくり		
7	第3編 地理 第4章 世界の産業					【事前】	テキストの該当ページの予習		
						【事後】	演習問題の復習ノートづくり		
8	第3編 地理 第4章 世界の産業					【事前】	テキストの該当ページの予習		
						【事後】	演習問題の復習ノートにまとめる。		
9	第3編 地理 第4章 世界の産業					【事前】	テキストの該当ページの予習		
						【事後】	演習問題の復習ノートづくり		
10	第3編 地理 第5章 各国地誌、人種、言語①					【事前】	テキストの該当ページの予習		
						【事後】	演習問題の復習ノートにまとめる。		
11	第3編 地理 第5章 各国地誌、人種、言語②					【事前】	テキストの該当ページの予習		
						【事後】	演習問題の復習ノートづくり		
12	第3編 地理 第6章 人口問題、都市問題、環境問題					【事前】	テキストの該当ページの予習		
						【事後】	演習問題の復習ノートづくり		
13	第3編 地理 第7章 日本の地誌					【事前】	テキストの該当ページの予習		
						【事後】	演習問題の復習ノートづくり		
14	まとめ					【事前】	テキストの該当ページの予習		
						【事後】	演習問題の復習ノートづくり		
15	まとめ					【事前】	テキストの該当ページの予習		
						【事後】	演習問題の復習ノートづくり		
	評価項目/割合		評価内容						
評価基準	1. 課題	30 %	ノートづくり						
	2. 授業姿勢	30 %	授業への自主的な参加態度						
	3. テストその他	40 %	確認テストの結果						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	初級公務員採用試験								

科目名	生物1A						学期	前 期	
担当教員	山内 裕	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	公務員試験合格の目標達成								
授業内容	基礎知識の定着の講義、知識定着確認のための演習、過去問取組								
学習目標	例年1題出題される問題の完答								
使用テキスト	公務員試験 地方初級 国家一般職(高卒者) 第3版 自然科学(テキスト)公務員試験 地方初級 国家一般職(高卒者) 第3版 自然科学(問題集)								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	細胞構造 講義	【事前】				無			
		【事後】				無			
2	植物 講義	【事前】				無			
		【事後】				無			
3	異化と同化 講義	【事前】				無			
		【事後】				無			
4	動物 講義	【事前】				無			
		【事後】				無			
5	神経系 講義	【事前】				無			
		【事後】				無			
6	遺伝子 講義	【事前】				無			
		【事後】				無			
7	生殖 講義	【事前】				無			
		【事後】				無			
8	進化 講義	【事前】				無			
		【事後】				無			
9	生態系 講義	【事前】				無			
		【事後】				無			
10	細胞・植物 演習・解説	【事前】				無			
		【事後】				課題			
11	異化と同化・動物 演習・解説	【事前】				無			
		【事後】				課題			
12	神経系と遺伝 演習・解説	【事前】				無			
		【事後】				課題			
13	遺伝・生殖 演習・解説	【事前】				無			
		【事後】				課題			
14	進化・生態系 演習・解説	【事前】				無			
		【事後】				課題			
15	過去問取組	【事前】				無			
		【事後】				課題			
	評価項目/割合		評価内容						
評価基準	1. 課題	20 %	授業中の演習の取り組み方						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率 授業に対する積極性(自ら考えようとしているか)						
	3. テストその他	50 %	期末試験						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	初級公務員採用試験								

科目名	化学1A						学期	前	期
担当教員	板坂 仁美	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	初級公務員試験に向けて、化学課題についての知識を身に付ける。								
授業内容	テキストを中心として化学の基礎事項を整理し、代表的な化学反応例を解説しながらの講義。問題集による演習を繰り返し、演習に合わせた解法を把握する実践								
学習目標	化学課題について自ら解決していく力を養い、初級公務員試験問題が解くことができる。								
使用テキスト	公務員試験 地方初級 国家一般職(高卒者) 第3版 自然科学(テキスト)公務員試験 地方初級 国家一般職(高卒者) 第3版 自然科学(問題集)								
週数	授業計画				事前・事後の学習				
1	第1章 物質の構造	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
2	第1章 物質の構造	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
3	第1章 物質の構造	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
4	第2章 物質の三態変化	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
5	第3章 溶液	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
6	第3章 溶液	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
7	第4章 酸・塩基	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
8	第4章 酸・塩基	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
9	第5章 酸化・還元	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
10	第5章 酸化・還元	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
11	第5章 酸化・還元	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
12	第6章 無機化合物	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
13	第6章 無機化合物	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
14	第7章 有機化学	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
15	第7章 有機化学	【事前】	テキストをよみ、重要箇所に線をひく。						
		【事後】	問題集を活用し、演習問題を解く。						
	評価項目/割合		評価内容						
評価基準	1. 課題	30 %	授業中の演習の取り組み方、家庭での課題の取り組み方 課題・ノートなどの提出状況						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率 授業に対する積極性(自ら考えようとしているか) ノートの取り方・まとめ方						
	3. テストその他	40 %	確認テスト 期末試験						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	初級公務員採用試験								

科目名	地学1A						学期	前 期	
担当教員	山内 裕	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	公務員試験合格の目標達成								
授業内容	基礎知識の定着の講義、定着確認の演習、過去問の取組								
学習目標	例年1題出題される問題の完答								
使用テキスト	公務員試験 地方初級 国家一般職(高卒者) 第3版 自然科学(テキスト)公務員試験 地方初級 国家一般職(高卒者) 第3版 自然科学(問題集)								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	地球の構造 講義	【事前】	無			【事後】	無		
		【事後】	無			【事後】	無		
2	気象と海洋 講義	【事前】	無			【事後】	無		
		【事後】	無			【事後】	無		
3	地殻形成 講義	【事前】	無			【事後】	無		
		【事後】	無			【事後】	無		
4	地球史 講義	【事前】	無			【事後】	無		
		【事後】	無			【事後】	無		
5	天文 講義	【事前】	無			【事後】	無		
		【事後】	無			【事後】	無		
6	地球の構造 演習・解説	【事前】	無			【事後】	課題		
		【事後】	課題			【事後】	課題		
7	気象と海洋 演習・解説	【事前】	無			【事後】	課題		
		【事後】	課題			【事後】	課題		
8	地殻形成 演習・解説	【事前】	無			【事後】	課題		
		【事後】	課題			【事後】	課題		
9	地球史 演習・解説	【事前】	無			【事後】	課題		
		【事後】	課題			【事後】	課題		
10	天文 演習・解説	【事前】	無			【事後】	課題		
		【事後】	課題			【事後】	課題		
11	過去問取組	【事前】	無			【事後】	課題		
		【事後】	課題			【事後】	課題		
12	過去問取組	【事前】	無			【事後】	課題		
		【事後】	課題			【事後】	課題		
13	過去問取組	【事前】	無			【事後】	課題		
		【事後】	課題			【事後】	課題		
14	過去問取組	【事前】	無			【事後】	課題		
		【事後】	課題			【事後】	課題		
15	過去問取組	【事前】	無			【事後】	課題		
		【事後】	課題			【事後】	課題		
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 20%	授業中の演習の取り組み方							
	2. 授業姿勢 30%	出席率 授業に対する積極性(自ら考えようとしているか)							
	3. テストその他 50%	期末試験							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	初級公務員採用試験								

科目名	物理1A						学期	前 期	
担当教員	山内 裕	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	公務員試験合格の目標達成								
授業内容	基礎知識の定着の講義、知識定着確認のための演習、過去問の取組								
学習目標	例年1題出題の問題対策								
使用テキスト	公務員試験 地方初級 国家一般職(高卒者) 第3版 自然科学(テキスト)公務員試験 地方初級 国家一般職(高卒者) 第3版 自然科学(問題集)								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	力学 講義	【事前】	無			【事後】	無		
		【事後】	無			【事前】	無		
2	力学 講義	【事前】	無			【事後】	無		
		【事後】	無			【事前】	無		
3	熱力学 講義	【事前】	無			【事後】	無		
		【事後】	無			【事前】	無		
4	波動 講義	【事前】	無			【事後】	無		
		【事後】	無			【事前】	無		
5	電磁気 講義	【事前】	無			【事後】	無		
		【事後】	無			【事前】	無		
6	原子 講義	【事前】	無			【事後】	無		
		【事後】	無			【事前】	無		
7	力学 演習・解説	【事前】	無			【事後】	課題		
		【事後】	課題			【事前】	無		
8	力学 演習・解説	【事前】	無			【事後】	課題		
		【事後】	課題			【事前】	無		
9	熱力学 演習・解説	【事前】	無			【事後】	課題		
		【事後】	課題			【事前】	無		
10	波動 演習・解説	【事前】	無			【事後】	課題		
		【事後】	課題			【事前】	無		
11	電磁気 演習・解説	【事前】	無			【事後】	課題		
		【事後】	課題			【事前】	無		
12	原子 演習・解説	【事前】	無			【事後】	課題		
		【事後】	課題			【事前】	無		
13	過去問取組	【事前】	無			【事後】	課題		
		【事後】	課題			【事前】	無		
14	過去問取組	【事前】	無			【事後】	課題		
		【事後】	課題			【事前】	無		
15	過去問取組	【事前】	無			【事後】	課題		
		【事後】	課題			【事前】	無		
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 20%	授業中の演習の取り組み方							
	2. 授業姿勢 30%	出席率 授業に対する積極性(自ら考えようとしているか)							
	3. テストその他 50%	期末試験							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	初級公務員採用試験								

科目名	作文 I A						学期	前 期	
担当教員	沢柿 温美	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	公務員試験に必要な小論文・作文の書き方を身に付ける。								
授業内容	伝わる文章を書くために必要な技術を実践を通して学ぶ。新聞や書籍の文章を取り上げ、作文の構成方法について学ぶ。								
学習目標	公務員試験に必要な小論文・作文の書き方を身に付けることができる。								
使用テキスト	就職活動のための 文章表現力基本テキスト								
週数	授業計画								
1	作文の書き方の基本								
2	文章表現の基本								
3	日本語表現のブラッシュアップ								
4	自己PR文の書き方								
5	履歴書・エントリーシートの書き方								
6	手紙の書き方とEメール活用法								
7	ビジネス文書の書き方								
8	実践演習								
9	実践演習								
10	実践演習								
11	実践演習								
12	実践演習								
13	実践演習								
14	実践演習								
15	実践演習								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	毎回の課題作文の提出と達成度						
	2. 授業姿勢	30 %	授業への自主的な参加態度 出席率						
	3. テストその他	30 %	確認テストの達成度						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	適正試験対策演習 I A						学期	前 期	
担当教員	沢柿 温美	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	公務員試験に必要な適性試験についての対策を目指す。								
授業内容	集団討論やグループワークを通して、自己を分析する。適正試験演習問題を実際に練習する。								
学習目標	適性試験問題の対策をすることができる。								
使用テキスト									
週数	授業計画								
1	コミュニケーション実技①								
2	コミュニケーション実技②								
3	自己分析①								
4	自己分析②								
5	講和								
6	適性試験演習①								
7	適性試験演習②								
8	グループワーク①								
9	グループワーク①								
10	講和								
11	グループワーク③								
12	グループワーク④								
13	適性試験演習③								
14	集団面接演習①								
15	集団面接演習②								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	作文提出						
	2. 授業姿勢	30 %	授業への自主的な参加態度 出席率						
	3. テストその他	30 %	確認テストの達成度						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	地域連携を図る機関の職員を招いての講演会。公務員を招いて公務員の心得を聞く。初級公務員採用試験								

科目名	試験対策演習1A						学期	通年	期
担当教員	板坂 仁美	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	初級公務員試験に向けて、数学・数的処理課題についての知識を身に付ける。								
授業内容	どの公式を利用するか判断力とその公式を利用して解くための実践力をつける演習。多くの演習問題に慣れ、採用試験問題の正解につなげる。								
学習目標	数学・数的処理課題について自ら解決していく力を養い、初級公務員試験問題を解くことができる。								
使用テキスト	公務員試験 地方初級 国家一般職(高卒者) 第3版 数学・数的推理(テキスト)公務員試験 地方初級 国家一般職(高卒者) 第3版 数学・数的推								
週数	授業計画								
1	第1編 数学 第1章 数と式								
2	第2章 方程式と不等式								
3	第3章 関数								
4	第4章 関数のグラフと方程式・不等式								
5	第5章 三角比								
6	第6章 数列								
7	第2編 数的推理 第1章 文章題								
8	第1章 文章題								
9	第1章 文章題								
10	第2章 図形								
11	第2章 図形								
12	第2章 図形								
13	第3章 場合の数								
14	第3章 場合の数								
15	第3章 場合の数								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30%	授業中の演習の取り組み方、家庭での課題の取り組み方 課題・ノートなどの提出状況						
	2. 授業姿勢	30%	出席率 授業に対する積極性(自ら考えようとしているか) ノートの取り方・まとめ方						
	3. テストその他	40%	確認テスト 期末試験						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他	初級公務員採用試験								

科目名	試験対策演習1A						学期	通年	期
担当教員	板坂 仁美	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	初級公務員試験に向けて、判断推理・資料解釈課題についての知識を身に付ける。								
授業内容	基礎的解法を利用して解く実践力、資料から必要な数値を読み取る読解力をつけるための演習。多くの演習問題に慣れ、採用試験問題の正解につ								
学習目標	判断推理・資料解釈課題について自ら解決していく力を養い、初級公務員試験問題を解くことができる。								
使用テキスト	公務員試験 地方初級 国家一般職(高卒者) 第3版 判断推理・資料解釈(テキスト)公務員試験 地方初級 国家一般職(高卒者) 第3版 判断推								
週数	授業計画								
1	第1編 判断推理 第1章 命題・論理								
2	第2章 暗号 第3章 対応関係(1)勝敗								
3	第4章 対応関係(2)対応 第5章 対応関係(3)類推								
4	第6章 対応関係(4)嘘つき問題 第7章 順位・順序(1)序列・大小								
5	第8章 順位・順序(2)数値 第9章 順位・順序(3)追い越し・親族関係								
6	第10章 位置 第11章 方位								
7	第12章 集合 第13章 魔法陣								
8	第14章 道順								
9	第15章 手順 第16章 曜日								
10	第17章 その他の問題								
11	第18章 平面図形(1)平面構成 第19章 平面図形(2)軌跡								
12	第20章 立体図形(1)正多面体 第21章 立体図形(2)立体の構造								
13	第2編 資料解釈 第1章 資料解釈の基礎 第2章 構成比								
14	第3章 増減率 第4章 指数								
15	第5章 特殊なグラフ								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30%	授業中の演習の取り組み方、家庭での課題の取り組み方 課題・ノートなどの提出状況						
	2. 授業姿勢	30%	出席率 授業に対する積極性(自ら考えようとしているか) ノートの取り方・まとめ方						
	3. テストその他	40%	確認テスト 期末試験						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	初級公務員採用試験								

科目名	試験対策演習1A						学期	通年	期
担当教員	沢柿 温美	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	初級公務員試験に向けて、国語・文章理解についての実践力を身に付ける。								
授業内容	多くの演習問題に慣れ、採用試験問題の正解につなげる応用力を養成する。								
学習目標	国語・文章理解の問題について自ら解決していく力を養い、初級公務員試験問題を解くことができる。								
使用テキスト	公務員試験 地方初級 国家一般職(高卒者) 第3版 国語・文章理解(テキスト)公務員試験 地方初級 国家一般職(高卒者) 第3版 国語・文章理								
週数	授業計画								
1	第1編 国語 第1章 現代文の内容把握								
2	第1編 国語 第1章 現代文の内容把握								
3	第1編 国語 第1章 現代文の内容把握								
4	第1編 国語 第2章 古文の内容把握								
5	第1編 国語 第2章 古文の内容把握								
6	第1編 国語 第2章 漢文の内容把握								
7	第1編 国語 第2章 漢文の内容把握								
8	第2編 文章理解(英語) 第1章 内容把握								
9	第2編 文章理解(英語) 第1章 内容把握								
10	第2編 文章理解(英語) 第2章 空所補充								
11	第2編 文章理解(英語) 第2章 空所補充								
12	第1編 国語 第4章 空所補充								
13	第1編 国語 第5章 文章整序								
14	第1編 国語 第5章 文章整序								
15	まとめ								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30%	授業中の演習の取り組み方、家庭での課題の取り組み方 課題・ノートなどの提出状況						
	2. 授業姿勢	30%	出席率 授業に対する積極性(自ら考えようとしているか)						
	3. テストその他	40%	確認テスト 期末試験						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他	初級公務員採用試験								

科目名	試験対策演習1A						学期	通年	期
担当教員	沢柿 温美	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	初級公務員試験に向けて、社会科学課題についての知識を身に付ける。								
授業内容	多くの演習問題に慣れ、採用試験問題の正解につなげる応用力を養成する。								
学習目標	社会科学の問題について自ら解決していく力を養い、初級公務員試験問題を解くことができる。								
使用テキスト	公務員試験 地方初級 国家一般職(高卒者) 第3版 社会科学(テキスト)公務員試験 地方初級 国家一般職(高卒者) 第3版 社会科学(問題集)								
週数	授業計画								
1	第1編 政治 第1章 民主政治								
2	第2章 日本国憲法								
3	第3章 基本的人権 第4章 立法権・国会								
4	第5章 行政権・内閣 第6章 司法権・裁判所								
5	第7章 地方自治 第8章 選挙制度と政党政治								
6	第9章 国際政治								
7	第2編 経済 第1章 市場の形態								
8	第2章 景気と金融政策								
9	第3章 財政政策と税金・通貨								
10	第4章 国民所得と景気変動 第5章 国際経済								
11	第6章 日本の経済								
12	第3編 倫理・社会 第1章 労働関係								
13	第2章 社会保障制度								
14	第3章 青年期の心理 第4章 社会集団と現代社会の構造								
15	第5章 日本・東洋の思想 第6章 西洋の思想								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30%	授業中の演習の取り組み方、家庭での課題の取り組み方 課題・ノートなどの提出状況						
	2. 授業姿勢	30%	出席率 授業に対する積極性(自ら考えようとしているか) ノートの取り方・まとめ方						
	3. テストその他	40%	確認テスト 期末試験						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	初級公務員採用試験								

科目名	試験対策演習1A						学期	通年	期
担当教員	板坂 仁美	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	初級公務員試験に向けて、自然科学課題についての知識を身に付ける。								
授業内容	物理は法則、化学は化学反応式、生物は頻出問題、地学は基礎的事項を解くための実践力をつける演習。多くの演習問題に慣れ、採用試験問題の								
学習目標	自然科学課題について自ら解決していく力を養い、初級公務員試験問題を解くことができる。								
使用テキスト	公務員試験 地方初級 国家一般職(高卒者) 第3版 自然科学(テキスト)公務員試験 地方初級 国家一般職(高卒者) 第3版 自然科学(問題集)								
週数	授業計画								
1	第1編 物理 第1章 力と運動1 第2章 力と運動2								
2	第3章 力と運動:エネルギー 第4章 波動								
3	第5章 電気物理学 第6章 原子と原子核								
4	第2編 化学 第1章 物質の構造 第2章 物質の三態変化								
5	第3章 溶液 第4章 酸・塩基								
6	第5章 酸化・還元 第6章 無機化合物								
7	第7章 有機化学								
8	第3編 生物 第1章 細胞構造 第2章 植物の調節作用								
9	第3章 同化と異化 第4章 動物の恒常性と調節								
10	第5章 神経系の発達 第6章 遺伝の仕組みと遺伝子の本体								
11	第7章 生殖と発生 第8章 生物の進化								
12	第9章 生態系と環境問題								
13	第4編 地学 第1章 地球の構造 第2章 気圧と風								
14	第3章 岩石 第4章 地殻変動・地震								
15	第5章 地球と星の運動 第6章 補足								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30%	授業中の演習の取り組み方、家庭での課題の取り組み方 課題・ノートなどの提出状況						
	2. 授業姿勢	30%	出席率 授業に対する積極性(自ら考えようとしているか) ノートの取り方・まとめ方						
	3. テストその他	40%	確認テスト 期末試験						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他	初級公務員採用試験								

科目名	電卓1A						学期	後 期	
担当教員	板坂 仁美	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	電卓を使用して四則計算や基礎的な商業計算ができる力を身に付ける。長時間継続できる集中力の養成。								
授業内容	電卓(学校にあるで電卓を使用)の細かいキーを使いこなせるまでを繰り返す練習。田キスト、問題集を中心とした演習。								
学習目標	電卓を早く正確に、自在に使いこなせることができる。								
使用テキスト	電卓計算能力検定試験公式テキスト、模擬試験問題集、直前模試								
週数	授業計画								
1	第1章 電卓の基本								
2	第2章 電卓の使い方								
3	第3章 試験問題の解き方								
4	3級乗算問題の計算手順 3級除算問題の計算手順								
5	3級複合算問題の計算手順								
6	基本練習、総合練習 3級複合算問題の計算手順								
7	模擬試験3回分								
8	模擬試験3回分								
9	模擬試験3回分								
10	模擬試験3回分								
11	模擬試験4回分								
12	模擬試験4回分								
13	模擬試験4回分								
14	模擬試験1回分 過去問2回分								
15	過去問3回分								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	授業中の演習の取り組み方 課題の提出状況						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率 授業に対する積極性(自ら練習しようとしているか)						
	3. テストその他	40 %	期末試験						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	全経電卓計算能力検定								

科目名	計算実務1A						学期	後 期	
担当教員	板坂 仁美	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	問題に合わせて、電卓の活用方法を使い分ける演習。長時間継続できる集中力の養成。								
授業内容	電卓(学校にあるで電卓を使用)の細かいキーを使いこなせるまでを繰り返す練習。田キスト、問題集を中心とした演習。								
学習目標	正確さ、迅速さを意識しながら電卓の便利な機能を利用した操作ができる。								
使用テキスト	公式テキスト計算実務3級、直前模試、過去問題シリーズ								
週数	授業計画								
1	基礎編 第1章 商業計算 第2章 帳簿の種類								
2	第3章 伝票計算								
3	3級編 第1章 主要簿の作成 第2章 補助簿の作成								
4	第3章 伝票計算								
5	第4章 商品売買に関する計算 第5章 売上原価及び売上総利益の計算								
6	第6章 利息計算								
7	模試3回分								
8	模試3回分								
9	模試3回分								
10	模試3回分								
11	模試4回分								
12	過去問4回分								
13	過去問4回分								
14	過去問4回分								
15	過去問4回分								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	授業中の演習の取り組み方 課題の提出状況						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率 授業に対する積極性(自ら練習しようとしているか)						
	3. テストその他	40 %	期末試験						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他	全経計算実務能力検定								

科目名	漢字 I A						学期	後 期	
担当教員	沢柿 温美	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	漢字能力検定任意級合格を目指す。								
授業内容	漢字の読み書きから四字熟語、部首などまで、漢字について幅広く学習する。								
学習目標	漢字能力検定任意級の合格。								
使用テキスト	漢検過去問題集/分野別問題集								
週数	授業計画								
1	分野別演習								
2	分野別演習								
3	分野別演習								
4	分野別演習								
5	分野別演習								
6	分野別演習								
7	分野別演習								
8	過去問演習								
9	過去問演習								
10	過去問演習								
11	過去問演習								
12	過去問演習								
13	過去問演習								
14	過去問演習								
15	過去問演習								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	事前・事後学習への取り組み						
	2. 授業姿勢	30 %	授業への自主的な参加態度 出席率						
	3. テストその他	30 %	確認テストの達成度						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他	日本漢字能力検定2級以上								

科目名	ビジネスマナー I A						学期	後 期	
担当教員	沢柿 温美	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	将来の就職に向けて、社会人としての資質・能力を習得する。								
授業内容	ビジネスをコミュニケーションの基本、仕事の実践とビジネスツールについて理解・習得する。								
学習目標	1月のビジネス能力検定(ジョブパス)3級合格をめざす。								
使用テキスト	2022年度版 B検 ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト 2022年度版 B検 ビジネス能力検定ジョブパス3級公式試験問題集								
週数	授業計画								
1	第1編 ビジネスとコミュニケーションの基本 第1章 キャリアと仕事へのアプローチ								
2	第2章 仕事の基本となる8つの意識								
3	第3章 コミュニケーションとビジネスマナーの基本								
4	第4章 指示の受け方と報告、連絡・相談								
5	第5章 話し方と聞き方のポイント								
6	第6章 来客対応と訪問の基本マナー								
7	第7章 会社関係でのつき合い								
8	第2編 仕事の実践とビジネスツール 第1章 仕事への取り組み、仕事の進め								
9	第2章 ビジネス文書の基本								
10	第3章 電話対応								
11	第4章 統計・データの読み方・まとめ方								
12	第5章 情報収集とメディアの活用								
13	第6章 会社を取り巻く環境と経済の基本								
14	まとめと試験対策(1)								
15	まとめと試験対策(2)								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	毎回の課題の提出と達成度						
	2. 授業姿勢	30 %	授業への自主的な参加態度 出席率						
	3. テストその他	40 %	確認テストの達成度						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他	1月のビジネス能力検定(ジョブパス)3級を受験し、合格をめざします。								

科目名	試験対策演習1A						学期	通年	期
担当教員	沢柿 温美	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	初級公務員試験に向けて、人文科学課題についての知識を身に付ける。								
授業内容	多くの演習問題に慣れ、採用試験問題の正解につなげる応用力を養成する。								
学習目標	人文科学の問題について自ら解決していく力を養い、初級公務員試験問題を解くことができる。								
使用テキスト	公務員試験 地方初級 国家一般職(高卒者) 第3版 人文科学(テキスト)公務員試験 地方初級 国家一般職(高卒者) 第3版 人文科学(問題集)								
週数	授業計画								
1	第1編 日本史 第1章 旧石器時代～推古朝 第2章 律令国家の形成～奈良時代								
2	第3章 平安時代 第4章 鎌倉時代								
3	第5章 建武の新政～室町時代 第6章 戦国時代～桃山時代								
4	第7章 江戸時代 第8章 江戸末期								
5	第9章 明治初期 第10章 明治中期～太平洋戦争								
6	第11章 終戦後 第12章 通史								
7	第2編 第1章 古代 第2章 中世ヨーロッパ								
8	第3編 生物 第1章 細胞構造 第2章 植物の調節作用								
9	第3章 近代ヨーロッパの誕生 第4章 近代国家の形成								
10	第5章 東洋史 第6章 現代の社会								
11	第7章 通史								
12	第3編 第1章 地図の図法 第2章 世界の地形								
13	第3章 世界の気候 第4章 世界の産業								
14	第5章 各国地誌・人種・言語など 第6章 人口問題・都市問題・環境問題								
15	第7章 日本の地誌								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30%	授業中の演習の取り組み方、家庭での課題の取り組み方 課題・ノートなどの提出状況						
	2. 授業姿勢	30%	出席率 授業に対する積極性(自ら考えようとしているか) ノートの取り方・まとめ方						
	3. テストその他	40%	確認テスト 期末試験						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他	初級公務員採用試験								

科目名	ICT演習 I A						学期	前 期	
担当教員	非常勤	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	企業においてITを利活用する実践的な知識・スキルを学習する。								
授業内容	企業において必須の技術である表計算ソフト、エクセルを用いて実践的な資料を作成する技術を身につける。								
学習目標	エクセルを使用して、データ作成・グラフ作成・簡単な関数を用いた計算ができる。								
使用テキスト	全学科:30時間でマスター Excel2013(Windows8対応) インターナショナルを除く学科:日商PC検定試験 データ活用 3級 公式テキスト&問題集 Microsoft Excel 2013対応 田商P								
週数	授業計画								
1	第1章Excelの基礎知識								
2	第2章Excel入門								
3	第3章ワークシートの活用(1)								
4	第3章ワークシートの活用(1)								
5	第3章ワークシートの活用(1)								
6	第4章ワークシートの活用(2) セルの絶対参照								
7	第4章ワークシートの活用(2) セルの絶対参照								
8	第4章ワークシートの活用(2) 端数処理								
9	第4章ワークシートの活用(2) 端数処理								
10	第4章ワークシートの活用(2) IF関数								
11	第4章ワークシートの活用(2) IF関数								
12	第5章グラフ(1)								
13	第5章グラフ(2) 複合グラフ								
14	第7章データベース オートフィルタ・並べ替え								
15	前期確認テスト								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	各授業における課題提出(期限厳守) 確認テスト結果						
	2. 授業姿勢	30 %	授業への積極参加 クラスへの協力度 教科書、パソコンその他忘れ物の有無						
	3. テストその他	30 %	検定を受験する学科は検定結果 受験しない学科はテスト結果						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他	日商PC検定データ活用3級								

科目名	ICT演習 I B						学期	後 期	
担当教員	非常勤	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	企業においてITを利活用する実践的な知識・スキルを学習する。								
授業内容	企業において必須の技術である表計算ソフト、エクセルを用いて実践的な資料を作成する技術を身につける。								
学習目標	エクセルを使用して、データ作成・グラフ作成・簡単な関数を用いた計算ができる。								
使用テキスト	全学科:30時間でマスター Excel2013(Windows8対応) インターナショナルを除く学科:日商PC検定試験 データ活用 3級 公式テキスト&問題集 Microsoft Excel 2013対応 日商P								
週数	授業計画								
1	前期範囲の復習								
2	日商PC検定3級の概要・演習問題								
3	日商PC検定3級の概要・演習問題								
4	日商PC検定3級の概要・演習問題								
5	日商PC検定3級の概要・演習問題								
6	日商PC検定3級の概要・演習問題								
7	日商PC検定3級の概要・演習問題								
8	日商PC検定3級受験								
9	第7章データベース ※ピボットテーブル追加								
10	第8章Excelの応用 VLOOKUP・HLOOKUP・INDEX								
11	第8章Excelの応用 データベース関数・条件付き集計								
12	日商PC検定3級対策								
13	日商PC検定3級対策								
14	日商PC検定3級対策								
15	日商PC検定3級対策								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	各授業における課題提出(期限厳守) 確認テスト結果						
	2. 授業姿勢	30 %	授業への積極参加 クラスへの協力度 教科書、パソコンその他忘れ物の有無						
	3. テストその	30 %	検定を受験する学科は検定結果 受験しない学科はテスト結果						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他	日商PC検定データ活用3級								

科目名	ICT活用 I A						学期	前	期
担当教員	非常勤	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	企画提案をはじめとする伝達能力全般の向上を目的とする								
授業内容	VRシステムを使用し新たなプレゼン技法を身に付ける								
学習目標	グループ作成をとおして課題解決力、コミュニケーション力向上を目指す								
使用テキスト	unityでつくる建築VR入門								
週数	授業計画								
1	unityの導入								
2	unityとは								
3	unityの動作環境								
4	unityhubインストール								
5	unityの軌道とプロジェクトの作成								
6	VRの基礎知識								
7	unityについて								
8	シーンビューの視点操作								
9	オブジェクトの操作								
10	スクリプトの操作								
11	簡単なゲーム作成								
12	簡単なゲーム作成								
13	グループ作成								
14	グループ作成								
15	作成物発表								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	課題レポートの提出						
	2. 授業姿勢	30 %	積極的に授業に取り組む姿勢						
	3. テストその他	40 %	修了試験						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	表現力 I A						学期	前 期
担当教員	長谷川万葉	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	単位数	1
学習目的	学習を通して、相手に伝わる表現力を養う。人前で堂々と発表できるようになる。人と対話できるようになる。							
授業内容	歌唱、ダンス、演劇、といった様々な表現を楽しく学ぶ。ストレッチ、呼吸、滑舌、発声等、基礎から実践的に学習し、最終的には発表を目指す。							
学習目標	学習を通して、明るい表情、正しい姿勢、相手に伝わる声、開かれた心など、接客やビジネスにもつながる健やかな心と体をつくる。他者との関わりの中でコミュニケーション能力を高める。自由な発想力や表現力、人前で堂々と発表できるような素地をつくる。							
使用テキスト	オリジナルテキスト、楽譜等(授業内容に合わせて、適宜配布。)							
週数	授業計画							
1	イントロダクション～自己紹介、授業内容の説明。							
2	シアターゲームとコミュニケーショントレーニング							
3	ダンス① 身体表現のひとつであり、既成のスタイルやテクニックのないコンテンポラリーダンスを学ぶ。言葉のいらない表現の世界、体を使ったコミュニケーションを体感する。							
4	ダンス② 身体表現のひとつであり、既成のスタイルやテクニックのないコンテンポラリーダンスを学ぶ。言葉のいらない表現の世界、体を使ったコミュニケーションを体感する。							
5	ダンス③ 身体表現のひとつであり、既成のスタイルやテクニックのないコンテンポラリーダンスを学ぶ。言葉のいらない表現の世界、体を使ったコミュニケーションを体感する。							
6	演劇① 演劇で遊ぶ。インプロ(即興演劇)やシアターゲームを体験する。相手に伝わる表現を学ぶ。							
7	演劇② 演劇で遊ぶ。インプロ(即興演劇)やシアターゲームを体験する。相手に伝わる表現を学ぶ。							
8	演劇③ 演劇で遊ぶ。インプロ(即興演劇)やシアターゲームを体験する。相手に伝わる表現を学ぶ。							
9	中間発表							
10	ソング① 歌と音楽を楽しむ。声の表現を学ぶ。							
11	ソング② 歌と音楽を楽しむ。声の表現を学ぶ。							
12	対話① 対話を学ぶ。他者と関わる。							
13	対話② 対話を学ぶ。他者と関わる。							
14	グループ発表							
15	発表							
	評価項目/割合		評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	実技課題への積極的な取り組み、課題提出状況。					
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席・遅刻 ②挨拶・受講態度 ③前向きに挑戦する姿勢 ④授業への積極的、協力的な参加 ⑤忘れ物がないか以上の観点から評価する。					
	3. テストその	40 %	個人発表、グループ発表等。発表の出来、そこに至るまでの過程、取り組み姿勢を総合的に判断する。					
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標設定・課外授業実施予定・その他	授業の進捗度・理解度等により、授業実施順番、内容を変更する場合があります。							

科目名	キャリア支援 I A						学期	後 期	
担当教員	沢柿 温美	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	自分の人生を自ら切り拓いていくためのキャリアプランを描く。地域社との交流活動を通して、社会人としての資質・能力を習得する。								
授業内容	自分のキャリアプランを作成する。地域社との交流活動を企画実施する。								
学習目標	自分のキャリアプランを描くことができる。地域社との交流活動を通して、社会人としての資質・能力を習得することができる。								
使用テキスト	2022年度版 B検 ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト就職活動のための文章表現力基本テキスト								
週数	授業計画								
1	自己分析								
2	キャリアプランの作成								
3	金融リテラシー								
4	防災と地域								
5	地域を知る								
6	地域交流イベントの企画準備								
7	地域交流イベントの企画準備								
8	地域交流イベントの企画準備								
9	地域交流イベントの企画準備								
10	地域交流イベントの企画準備								
11	地域交流イベントの実施								
12	地域交流イベントの実施								
13	活動のまとめ								
14	活動のまとめ								
15	活動のまとめ								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	毎回の課題の提出と達成度						
	2. 授業姿勢	30 %	授業への自主的な参加態度 出席率						
	3. テストその他	40 %	卒業発表会の作品						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他	校外学習実施講和								

科目名	データマーケティングⅠA					学期	前	期	
担当教員	清水 大樹	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。								
授業内容	ビッグデータの分析や活用方法をPOSデータやドルフィンアイ、RESASなどを用いて学ぶ。								
学習目標	マーケティングの基礎知識を習得し、専門用語が理解できる。基本的手法や技法を、具体的事例に当て嵌めて考えることができる。								
使用テキスト	データマーケター養成講座 初級編								
週数	授業計画								
1	オリエンテーション ・ 講座の進め方と受講の心構えについて ・ 講座の目的とゴール（販売業を機軸にDMの基本を学ぶ） ・ 用語の説明 ・ データマーケターとは								
2	ビッグデータとは ・ ビッグデータとは ・ ビッグデータの利用・背景・活用 ・ 小売業を取り巻く環境の変化								
3	データ活用 ・ データ活用のステップ ・ データの種類（自社データ・公的データ・民間データ） ・ データから何が読み取れるか？データの見方の視点 ・ RESAS、ウレコンの使い方								
4	エクセルハンズオン① グラフの作成 ・ データマーケティングに必要なEXCEL操作（グラフ作成） ・ グラフの種類とそれぞれの使い方を知る ・ 〈PW〉ウレコンの表を選びグラフが何を示しているかをパートナーに説明する。								
5	実習① ・ 〈ワーク&GW〉ウレコン、ドルフィンアイを使用する。 ドルフィンアイから、データをダウンロードする。 折れ線グラフを作成し、その折れ線グラフから読み取れることをグループで協議、共有して全体に発表する								
6	エクセルハンズオン② 散布図と相関 ・ 散布図の作り方 ・ 相関係数の意味 ・ 相関と因果 ・ 〈ワーク〉ドルフィンアイからダウンロードしたデータで相関係数を出して、2つの事項に相関があるか判断する								
7	企画提案のための思考法 ・ 利用者への共感から問題の理解 ・ 問題解決のためのアイデア出し（ブレインストーミング） ・ 試作品の提出とフィードバックの収集								
8	データ活用と各業界 ・ データの利用といろいろな業界を紹介する。 ・ 小売をベースに講座が進行しているが、その他の業界でもデータ活用がこれからのマーケティングの基礎になることを知る。 ・ フィールドワーク（宿題）の説明								
9	POSデータ① ・ POSデータとはなにか ・ POSデータ分析の重要性 ・ 〈ワーク〉ロコミサイトとPOSデータ ・ POSデータの分析の方法と準備								
10	POSデータ② ・ POSデータの比較 ・ POSデータから見えること① ・ 〈PW〉POSデータのサンプルからどの数字に注目するか？								
11	POSデータ③ ・ POSデータから見えること② ・ 〈PW〉折れ線グラフから何が読み取れるか？ ・ 売上げと価格								
12	フィールドワークの発表 ・ 事前に課題として与えておいた近所のドラッグストアやスーパーの調査（どんなものが売っているか？どんな売り場構成をしているか？競合店舗はあるか？など）を発表する。								
13	実習② ・ 〈GW〉サンプルデータを分析してグラフ作り、売れ行きのよいカテゴリはなにかを見つける。グループ内で協議・共有して、そのカテゴリを見つけたポイントや特徴はなにかを発表する。								
14	実習③ ・ 〈GW〉サンプルデータを分析して売り場に何を置いたらよいかを選定し、全体に発表する。他グループの差を見つけ、選定方法や方針の違いについてディスカッションを行なう。								
15	実習③ ・ 〈GW〉サンプルデータを分析して売り場に何を置いたらよいかを選定し、全体に発表する。他グループの差を見つけ、選定方法や方針の違いについてディスカッションを行なう。								
評価基準	評価項目/割合		評価内容						
	1. 課題	30%	ワークシート等の状況を評価する。 レポート等の状況を評価する。						
	2. 授業姿勢	30%	出席状況、発言の積極性、授業に取り組む姿勢、締め切りの厳守を評価する。						
	3. テストその他	40%	プレゼン発表での評価、グループワークでの協力度 各章ごとの確認テスト及び 期末試験						
課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	データマーケティングIB						学期	後 期	
担当教員	清水 大樹	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。								
授業内容	データマーケティングの基礎をおさえ、ドルフィンアイ等のビッグデータを活用し、データの分析を行う。								
学習目標	マーケティングにおけるデータの取り扱いについて学び、実際の事例やデータを題材にして、仮説を立て分析することができる。								
使用テキスト	データマーケター養成講座 初級編								
週数	授業計画								
1	マーケティングの基礎① ・マーケティングとはなにか ・マーケティング1.0~4.0 ・マーケティングの4P								
2	ID-POSデータ ① ・ID-POSデータとはなにか ・POSデータとID-POSデータの違い ・ID-POSデータから見えること①								
3	ID-POSデータ ② ・売上げを構成する要素（因数分解）① ・〈ワーク〉売上げ分解ツリーを作ってみよう								
4	ID-POSデータ ③ ・購入率とリピート率 ・売れ続ける商品								
5	マーケティングの基礎② ・これからのマーケティング								
6	ID-POSデータ ④ ・併売とはなにか（考え方の基礎） ・リフト値 ・〈ワーク〉リフト値を求めてみよう								
7	実習 ④ ・〈ワーク&GW〉RESASに触れてみる。ドルフィンアイを駆使してテーマに沿ったデータを探し、仮説をたて、グループとして発表する。								
8	外部データの利用 ① ・外部データとはなにか ・気象データの利用								
9	外部データの利用 ② ・〈ワーク&GW〉サンプルデータから商品を確定し、どうしてその商品に決めたのかを協議・発表する。 ・ウェザーマーチャントタイジング ・商品前線								
10	実習 ⑤ ・〈ワーク&GW〉外部データを利用した売り出し時期の選定								
11	マーケティングの基礎③ ・代表値について（平均・中央値・最頻値） ・〈GW〉ペルソナを作ってみる								
12	課題発見と提案 ① ・〈ワーク&GW〉与えられたデータを分析し、ペルソナを作成して課題を解決する。								
13	課題発見と提案 ② ・〈GW〉分析のまとめを行い、発表準備にとりかかる（発表用の模造紙作成とグループ内での発表の予行演習）								
14	課題発見と提案 ③ ・〈GW〉発表とその発表に対するコメント								
15	課題発見と提案 ③ ・〈GW〉発表とその発表に対するコメント								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30%	ワークシート等の状況を評価する。 レポート等の状況を評価する。						
	2. 授業姿勢	30%	出席状況、発言の積極性、授業に取り組む姿勢、締め切りの厳守を評価する。						
	3. テストその他	40%	プレゼン発表での評価、グループワークでの協力度 各章ごとの確認テスト及び 期末試験						
課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									